

令和元年度北上市 決算の報告

~End of the fiscal period~

■問い合わせ 財政課 ☎72-8249

令和元年度（平成31年4月1日～令和2年3月31日）の市の決算が、9月の市議会通常会議で認定されました。

◆歳入（収入）

地方交付税などが減額となったものの、市税のうち個人市民税と軽自動車税が増加、国庫支出金や寄附金、市債などが増加したことにより、歳入全体としては前年度比6.9%の増額となりました。

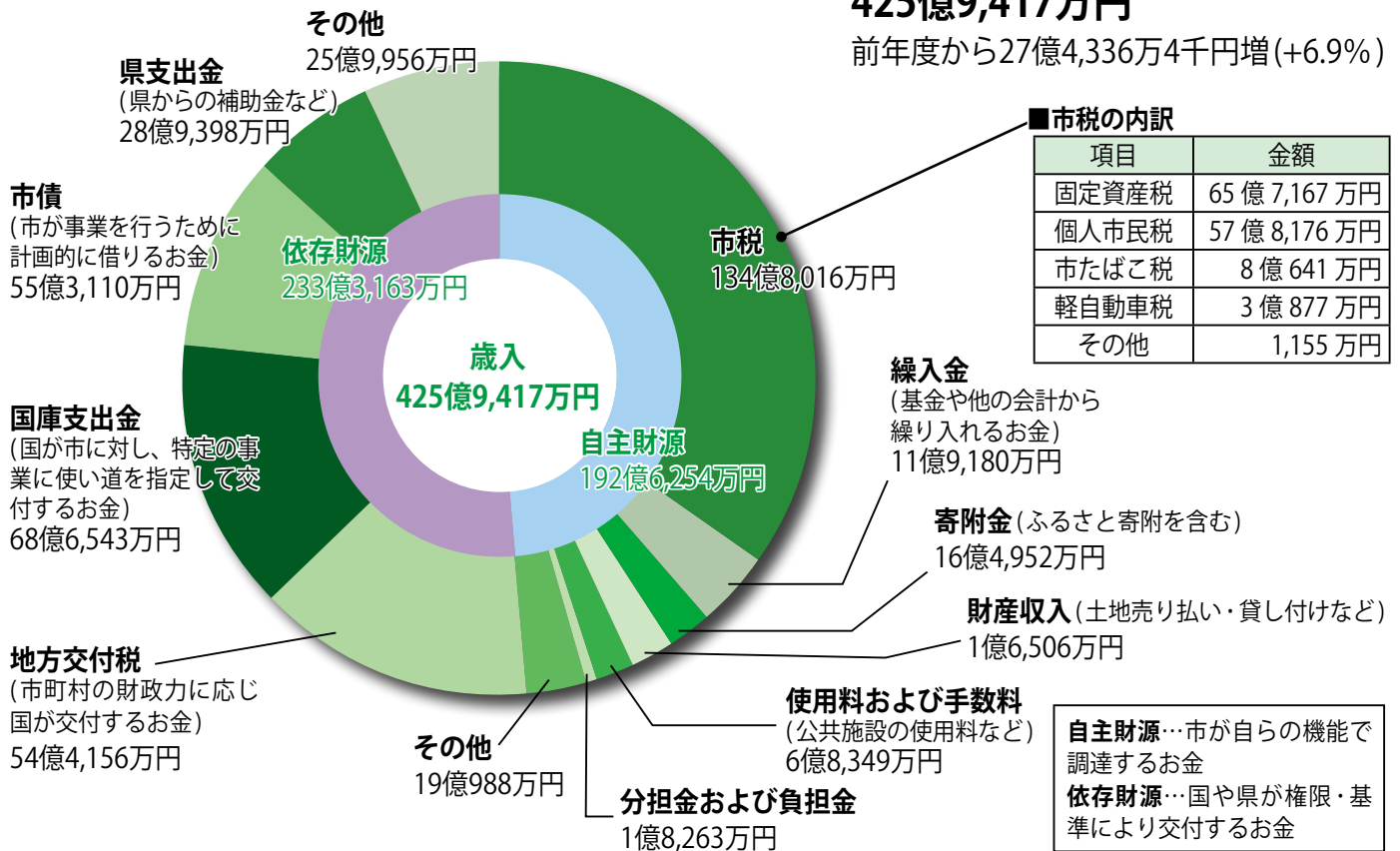
◆歳出（支出）

義務的経費のうち公債費が大きく減少しましたが、病院建設補助や給食センターの整備、橋の整備といった投資的経費が大幅な増加となったことにより、歳出全体としては前年度比7.4%の増額となりました。

歳入（市に入ってきたお金）

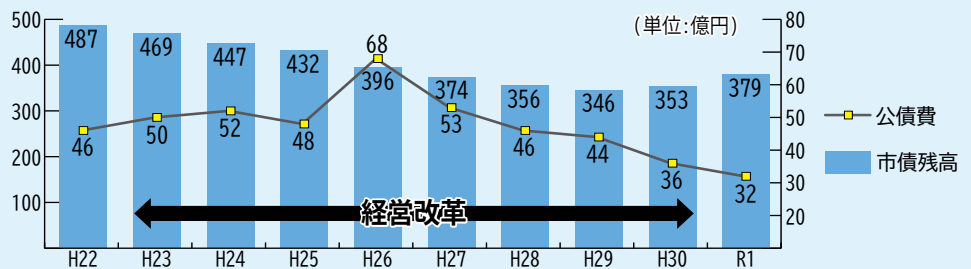
425億9,417万円

前年度から27億4,336万4千円増(+6.9%)



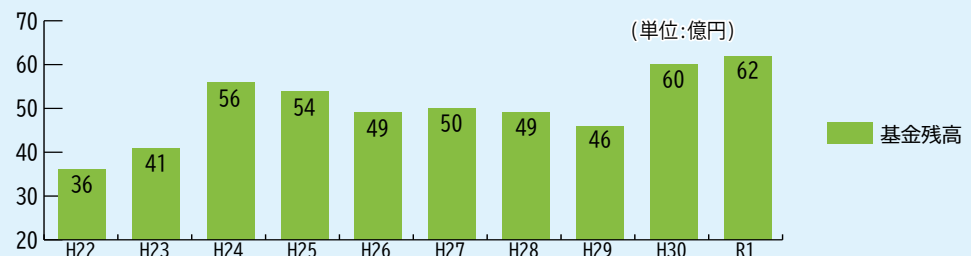
■公債費・市債残高の動き

平成23～30年度の経営改革により市債残高（借金）の縮減に取り組んできました。



■基金残高の動き

（財政調整基金と市債管理基金の合計）
一般財源を抑制し基金の取り崩しを最小限に抑えた結果、基金残高は回復してきました。



令和元年度の主な事業

★1 子ども・妊産婦医療費給付事業【民生費】
支出済額：1億6421万円
乳幼児から高校生までの子ども、妊産婦に医療費を給付し、医療費負担軽減を図りました。

★2 ラグビーワールドカップ2019公認キャンプ地推進事業、施設整備事業【教育費】
支出済額：850万円（推進）、3157万円（施設整備）
ウルグアイ代表を一丸と成って応援できました。今回の交流は、またとない貴重な体験となりました。

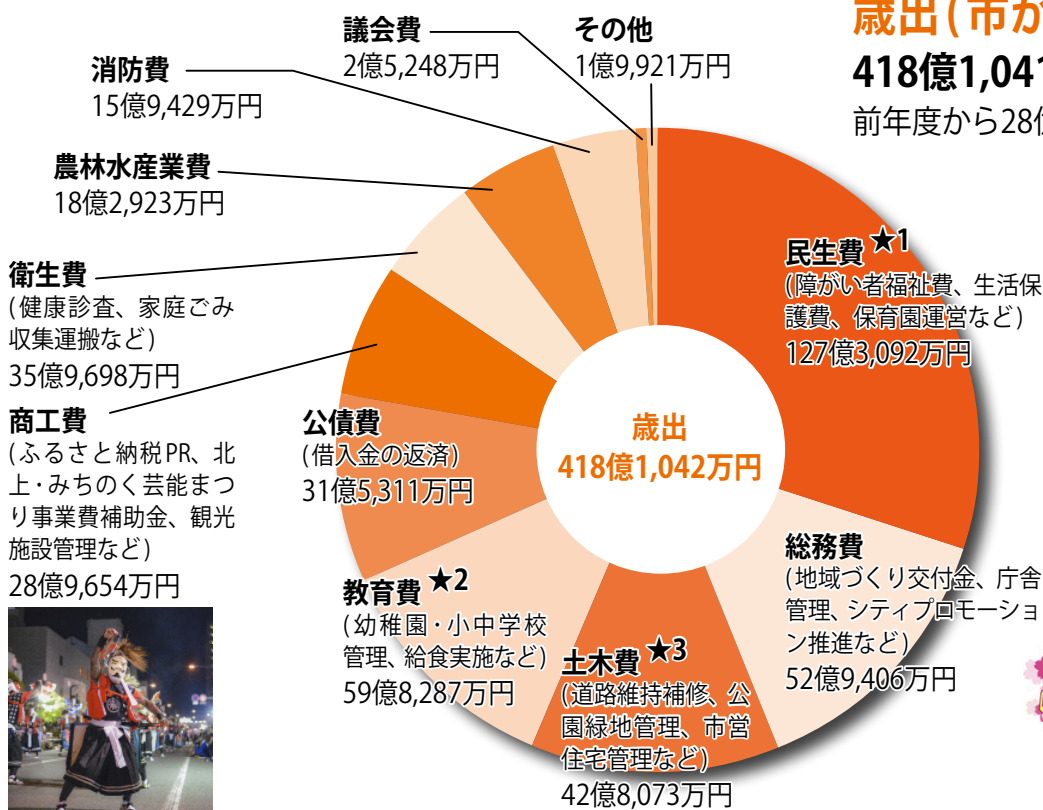
★3 拠点間交通運行事業（おに丸号）【土木費】
支出済額：616万円
定時定路線の有償運送を実施し、都市拠点と地域拠点とを結ぶ市民の大きな足となりました。



歳出(市が使ったお金)

418億1,041万6千円

前年度から28億8,407万5千円増(+7.4%)



保育園で過ごす園児たち



北上・みちのく芸能まつり



2021年周年記念事業ロゴマーク

特別会計

■特別会計決算額の一覧 ※歳入と歳出は表示単位未満四捨五入のため、差し引きと合計が一致しない場合があります。

会計	歳入	歳出	差し引き
国民健康保険	72億5,271万円	72億4,318万円	953万円
後期高齢者医療	15億8,992万円	15億8,630万円	362万円
介護保険	80億2,971万円	78億9,245万円	13,725万円
工業団地事業	16億3,381万円	16億3,365万円	16万円
農業集落排水事業	7億6,244万円	7億6,244万円	0
駐車場事業	3億312万円	3億311万円	1万円
宅地造成事業	1,532万円	1,479万円	53万円
電気事業	1億9,146万円	1億6,857万円	2,289万円
土地取得	77万円	77万円	0
合計	197億7,926万円	196億526万円	1億7,400万円

9つの特別会計の合計は歳入が197億7926万円、歳出が196億526万円となりました。令和元年度は全ての特別会計で黒字決算となりました。



令和元年度の一般会計決算額を、年収500万円の家計に置き換えてみました。きたかみさんは給料などのほか、親からの仕送りや借金をしながら生活しています。 ※実際の家計とは単純に比較できない部分もありますが、参考にご覧ください。

収入(歳入)		支出(歳出)	
【家族で稼いだお金】		【家族の生活費】	
給料(市税)	…158万円	食費(職員給与などの人件費)	…59万円
パート収入(寄附金、施設使用料など)	…41万円	光熱費などの雑費(備品購入、委託料などの物件費)	…84万円
資産運用収入(土地売り払い・貸し付けなど)	…2万円	町内会費(補助金など)	…53万円
【稼ぎ以外のお金】		【生活費以外の支出】	
親からの仕送り(地方交付税、国・県からの補助金など)	…209万円	車や家財などの修理代(施設などの維持補修費)	…5万円
借金(市債)	…65万円	医療費・介護費用(生活保護などの扶助費)	…88万円
預金の取り崩し(基金、前年度繰越金など)	…25万円	借金の返済(公債費)	…38万円
収入合計	…500万円	家の増改築費(公共事業など)	…101万円
◇預金残高	…105万円	子どもたちへの仕送り(他会計への繰出金)	…42万円
		預金(投資、出資金、翌年度繰越金)	…30万円
		支出合計	…500万円
		◆借金の残高	…453万円



北上市の財政状況

◆健全化判断比率

市町村などの財政の健全度を示す健全化判断比率の数値は、いずれも基準を下回り健全な状態です。

実質公債費比率は、行政改革期間中の投資的経費の抑制により、公債費のピークである平成26年度以降は改善傾向が続いています。

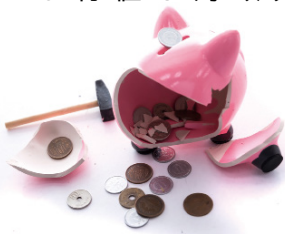
将来負担比率は、平成19年度には200%を超えていましたが、市債の償還が進み改善傾向が続いていました。令和元年度は、近年の普通建設事業の増加に伴い、比率が増加に転じていますが、引き続き健全な数値となっています。

なお、各会計や公営企業は黒字決算であるため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は、算定されていません。

◆用語の解説

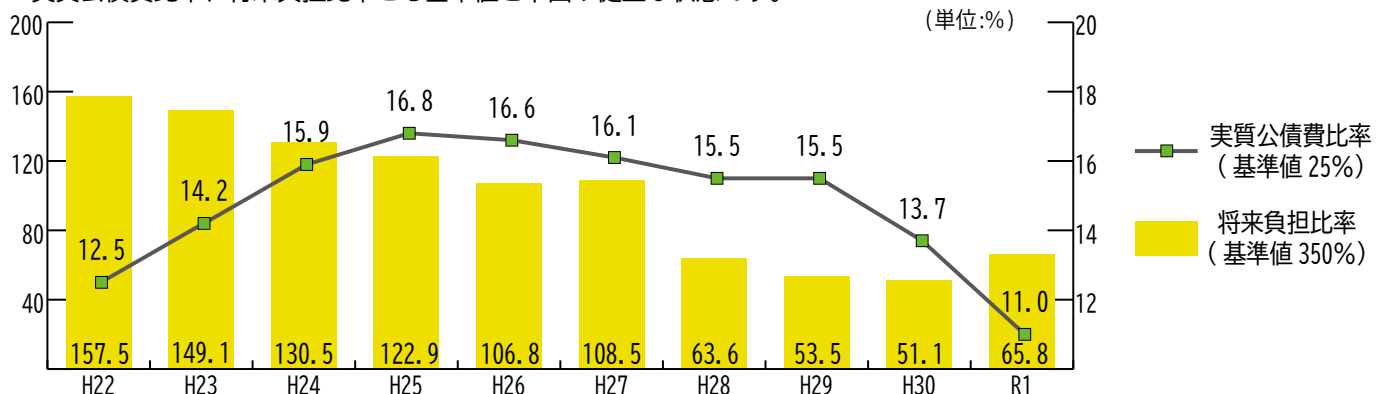
実質公債費比率…借金の年間返済額の大きさを市の財政規模(収入)に対する割合で表したものです。数字が小さいほど、借金が少なく資金繰りがうまくいっているということです。

将来負担比率…将来返済する分も含めて借金全体の大きさを市の財政規模(収入)に対する割合で表したものです。数値が小さいほど、将来の負担が少ないということです。



■健全化判断比率の動き

実質公債費比率、将来負担比率とも基準値を下回り健全な状態です。



おしえて！スイスイくん！

スイスイくんは、下水道法制定100周年を記念して誕生した下水道のマスコットキャラクター。何事も水に流してしまう、穏やかでおっとりとした性格の持ち主です。

そんなスイスイくんに下水道事業会計の決算について聞いてみました。



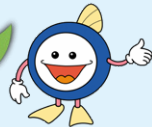
下水道施設の維持管理のために、一般会計から6億円も補助金をもらっているんですね。



そのとおりです。この補助金は皆さんが納めた税金が主な原資です。下水道事業には大きな投資を要するので、一定程度を税金でまかなう必要があるのです。



税金はみんなが納めるものだから、下水道が整備されていないところに住む人にとっては不公平ではないですか？一定程度とは具体的にどのくらいですか？



下水道は公衆衛生の向上や水質保全に広く寄与していますので、税金でまかなう費用について国が一定の基準を示しています。

令和元年度の補助金6億円のうち、国の基準に基づく金額は3.8億円でした。よって残りの2.2億円は、本来は下水道使用料などでまかなう必要があるのですが、金額が不足しているため一般会計からの補助金で補っているのです。



なるほど、よく分かりました。それでは今後の下水道事業はどのように運営していくのですか？



皆さんがより安心して下水道施設を継続利用できるように、施設の適切な維持管理と一層のコスト縮減を推進していきます。

一方で、下水道使用料だけでは維持管理費用をまかなえない状況が続いています。こうしたことから、早期にあるべき下水道使用料水準の検討を行っていきます。

下水道事業会計

◆下水道事業会計とは

下水道事業は、サービスの提供を受けた人がその費用を負担するという考え方を基本とし、使用料により運営されています。このため、独立した会計を設けて、経営・財務状況を毎年度明らかにしています。

◆2つの収支決算

下水道事業では、民間企業と同様に「複式簿記会計」により経理を行っているため、収入と支出が次の2つに区分されます。

- ①下水道施設を維持管理するための収入と支出（当年度の損益となる）
 - ②下水道施設を建設するための収入と支出（資産や負債となる）
- 決算も2つに分かれるため、経営成績と財政状況がより明確になります。

◆令和元年度決算の内容

①下水道施設を維持管理するための収入と支出 収入22.9億円 - 支出23.4億円 = △0.5億円（純損失）

【収入】	
項目	金額
下水道使用料	13.5億円
一般会計からの補助金	6.0億円
その他	3.4億円
合計	22.9億円

【支出】	
項目	金額
減価償却費	10.4億円
汚水処理費用	9.8億円
借入金利息	3.2億円
合計	23.4億円

POINT
一般会計や特別会計と異なり、減価償却費など現金の支払いが伴わない費用も計上しています。よって、純損失は会計上の赤字であり、現金不足が生じたものではありません。

②下水道施設を建設するための収入と支出 収入13.4億円 - 支出22.0億円 = △8.6億円

【収入】	
項目	金額
企業債（借入金）	7.5億円
一般会計からの出資金	3.6億円
国からの補助金	1.8億円
受益者負担金	0.5億円
合計	13.4億円

【支出】	
項目	金額
企業債（借入金）などの償還	15.7億円
処理場の建設・更新費用	3.7億円
下水道管の建設・更新費用	2.6億円
合計	22.0億円

POINT
②の収支は通常、収入額が支出額に対して不足します。この不足分は、減価償却費など現金の支払いを伴わない費用によって蓄えられた資金で補っています。